

ソルコムが広島経済レポートに掲載されました

ソルコムが取扱開始 案内ロボット「テミ」

電気通信工事のソルコム（中区南千田東町、大橋大樹社長）は9月から、オフィスや店舗で案内などに使う「スマートロボット temi」の取り扱いを始めた。

移動、発話、画像・動画の表示といった動作を組み合わせ、オフィスの受け付け、店舗の案内・接客、巡回監視などを担う。16個の異なるセンサーで人や障害物を回避しながら進む。人物追従の機能があり、一緒に歩くことで周辺の地図を自動生成。

AIを搭載し、本体やスマホから目的地を指定すると最適なルートを選んで自動で動く。白・黒の2種類を



用意し、約90万円。2年目以降は年間約6万円の保守料がかかる。

米国内企業が開発。親会社のミライト・ワンが日本総代理店と資本業務提携を結んだ。グループ一体で販売、サポート、開発、周辺設備工事などに対応する。動画表示の機能を使い、介護施設入居者と家族の遠隔面会に使うためらおうと、ウェブ予約などの機能を組み合わせた専用ウェブサービスを開発中。本体とのセット販売を視野に入れる。

ソルコムは「スマートロボットtemi(テミ)」の取り扱いを開始しました。デモの実施、お客様へのご説明、納品・初期設定は「みらいビジネス推進部」が担当します。ソルコムはミライト・ワングループと連携し、temiの利用シーンを模索し新しいサービスの検討を行っており、社会のお困りごとに応えるソリューションの創造に取り組んでいます。

問合せ先: ソルコム みらいビジネス推進部 082-504-3351